

2018年1月
1135号

百葉

Manyoh

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5
(一冊の会研究室)

新年を迎え、新たな気持ちで歩み始める

～世界人権宣言 70周年～

平成30年に入り最初の一冊の会櫻華塾が、1月14日憲政記念館の尾崎記念財団応接室にて開催いたしました。新年のご挨拶は短くすませ、これからの一冊の会の活動に目を向ける会員達の顔は皆やる気に溢れております。

アメリカでの生活とボランティア精神 斉藤明美さん

1988年に渡米し昨年までテキサス州に滞在されていた斉藤さん。2017年8月に大型ハリケーンが直撃した際の出来事や、アメリカのボランティア精神についてお話しされ、一冊の会は自分がしたいと思っている活動ができると思い参加したと発表されました。



核兵器禁止条約について 箱根常任参事

ノーベル平和賞を受賞した ICAN (核兵器廃絶国際キャンペーン) とともに活動してきた広島市の被爆者でカナダ在住のサーロー節子さんのスピーチの感想を、複数の新聞に投稿したところ、1月5日付の東京新聞に掲載されたとのことで発表されました。核廃絶に向けた海外での取り組みとして、イタリアの「核はいらない」のスローガンを掲げた活動とイタリア語でスローガンが書かれたキャンペーングッズを紹介くださり、We don't need ではなく、We don't want の精神で臨みましょうと締められました。

一冊の会研究員辞令交付

石田理事長から研究員の辞令が4人に交付されました。研究員は一冊の会の歴史を学び、研鑽を重ねて会の趣旨や目的に賛同する人々の輪を広げていきます。各々決意を述べました。

平間幸江：識字率向上のためワークショップを開催します。

赤田美香子：福祉と人権、識字と教育から始まった一冊の会の原点の精神“見てみよう！聞いてこよう！語り合おうよ友好の輪10人の友人づくり”を伝えて参ります。

城杉清佳：人権と国際平和につながる一冊の会の活動を、真の国際人として発信します。

山内聖士：IT関連や被災地支援を中心に活動し、賛同者・支援者の輪を広げてまいります。



新会員挨拶

新しく仲間に加わったお2人が挨拶されました。宮田さんは日本社会にはボランティアが根付いていないことを憂い、奈良輪さんと力を合わせて女性の地位向上の流れのなかに入り頑張っていきたいとのこと。奈良輪さんはすでに20個の募金箱を配布することにチャレンジし、すでに4人に渡したとのこと。素晴らしい仲間が増えたことに一同喜び、大拍手で迎えました。

また、前回いらした沖さんは残念ながら今回参加できず、感想を友人の鬼童さんに託され、鬼童さんが代読いたしました。長年会社員として箱の中で暮らしていたが、外にも世界があり、飛び出す決意をしたとのこと。女性の地位向上や活躍を考える際には男性も一緒に考えなくてはなりません。新しい男性、それもやる気に溢れた仲間が増えたことに皆喜びました。

YouTube 経過報告 鬼童事務局次長

10年続いた赤松良子世界インターネット配信を発展させた、赤松良子 YouTube 配信。動画、音声を通じてより一冊の会の理念、信念を多くの方に伝えることが可能となります。先月、鬼童さんを筆頭に山内さん、沖さんの3人を中心に新しいプロジェクトを運営していくことが発表されたばかり。早速進捗状況の報告がなされました。

山のようにある今までの動画の中から、どれを1番最初に挙げるかは大変大切で、難しい選択だったとのことですが、技術的側面も勘案して悩んだ末の最初の1本がとうとう公開されます。YouTubeのページの検索で「一冊の会」と入力してください。

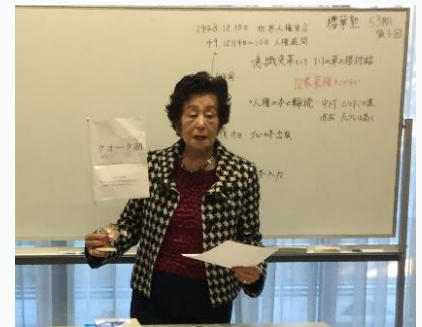
世界人権宣言70周年にあたり 大槻会長から

今日研究員に任命された4名の皆さんには、一冊の会を語り継いでいって欲しいです。最初は5-6人の前でもいいからまずしゃべってみること。

政治分野における男女共同参画推進法制定を目指して、2018年は男女共に政治元年にするために、クオータ制の推進がとても大事な年です。

そして、2018年は世界人権宣言から70年です。1948年12月10日に国連総会で基本的人権をうたった「世界人権宣言」が採択され、日本でも翌年から12月4日～10日を人権週間と定め各地で啓発活動に取り組み、一冊の会では“1対1草の根対話”を重ねてきました。1999年に出版したブルーの本『1946.4.10～初の婦人参政権行使と日本女性自立への出発(たびだち)』ですが、調査の内容を記しているインクが変色して消えつつあります。そこで、世界人権宣言70周年を記念し、パソコンに再入力する作業に取り組んでいるところです。

その意義ある人権宣言に花を添えてくださる方が、一冊の会最高顧問にお迎えいたしました、伊勢桃代先生です。伊勢先生は28年間国連に勤務され、主に国連大学創設や国連職員に対する研修制度の充実に関わっておられました。伊勢先生がいらっしゃらなかつたら、国連大学を日本に誘致することはできなかったでしょう。3月17日は伊勢先生をお迎えして講演会を開催致します。皆さん、楽しみに集みましょう！



毎年1ミリの進歩でも歩み続けること 石田理事長

新しい仲間が増えたことの祝福と、研究員への激励をされた後、継続がいかに大切かをお話しされました。

世界人権宣言から70年、いまだに人権侵害や人を貶める言葉が日本にも世界にもあります。たとえ活動が長さにすれば毎年1ミリの歩みでも、1回でも活動を止めてしまうと、それまでの積み重ねが何百メートルも後退してしまう。志高くといっても、余りにも大きいことだと地に足がつかない。大槻会長は1ミリを大切に思うからこそ、厳しい言葉がでてくる。私も相馬雪香にずいぶんと怒られました。皆さん共に歩んでいきましょう。



文責：赤田研究員、平間研究員